

2006 年度

科目名 レクリエーション概論	対象学科・学年 文学部教福 3 回生 文学部コミ 3 回生 教育教福 3 回生 人間人社 2 回生	担当者 亀井 安子
授業テーマ レクリエーションの基礎理論。 現代社会におけるレクリエーションの意義。		
授業の概要と目標 レクリエーション・インストラクターとして必要な知識と技能の基礎を学ぶ。広い意味でレクリエーションとは、報酬を得ることを目的としない楽しみの活動すべてをさす。レクリエーションは個人の楽しみだけでなく、他者との交わりの中で人々の生活に潤いを与えるものである。心の豊かさが求められる現在、レクリエーションの重要性と意義について現代社会との関連から理解を深めていきたい。		
評価方法 授業内容に関するワークシートの提出、テスト、出席によって総合的に評価する。		
テキスト 楽しいをつくる やさしいレクリエーション実践	著者 (財) 日本レクリエーション協会編	出版社 (財) 日本レクリエーション協会編
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容 第1回 レクリエーション指導者資格について オリエンテーション レクリエーションとは何か 第2回 現代社会から見たレクリエーション 第3回 余暇生活の現状と課題 第4回 レクリエーションに期待されているもの 第5回 レクリエーションの歴史 第6回 レクリエーション支援の基本的な考え方と実際 第7回 レクリエーション支援のプロセス 第8回 レクリエーション支援の目指すもの 第9回 レクリエーション支援の特色 第10回 レクリエーション支援の役割 第11回 レクリエーション種目についての理論および実践Ⅰ（手遊び・室内ゲーム・ニュースポーツ等） 第12回 レクリエーション種目についての理論および実践Ⅱ（レクリエーションダンス・フォークダンス等） 第13回 レクリエーション種目についての理論および実践Ⅲ（ニュースポーツ・グループワーク等） 第14回 グループワーク・コミュニケーションの実際 第15週 グループワーク 作品発表		